

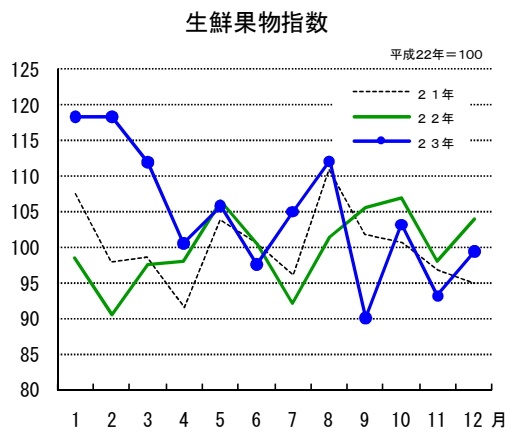
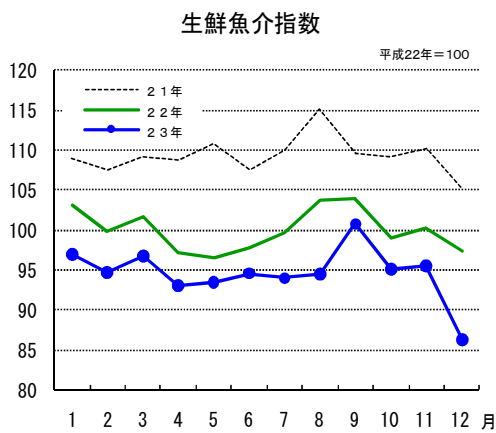
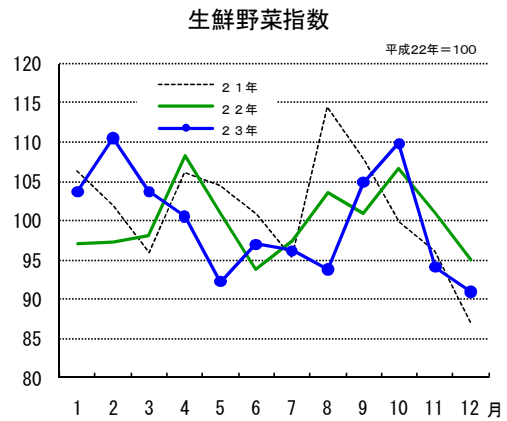
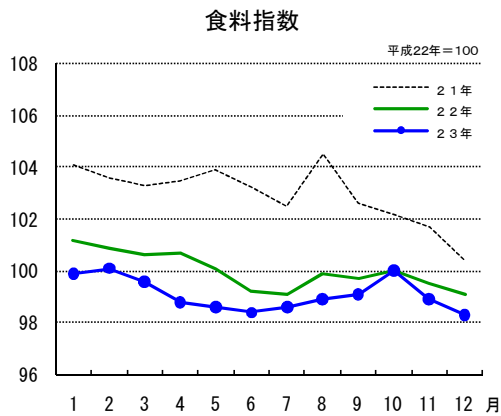
4 費目別指数の動き

(1) 食料

年平均指数は99.1となり、前年に比べ0.9%の下落となった。

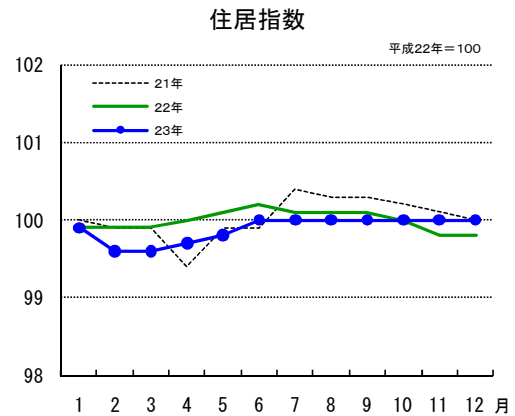
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が5.3%の下落、生鮮野菜が0.2%の下落、生鮮果物が4.6%の上昇となり、生鮮食品全体では0.7%の下落となった。

生鮮食品以外では、穀類が3.1%の下落、油脂・調味料が3.5%の下落、菓子類が0.5%の下落、調理食品が2.4%の下落、酒類が0.5%の下落となった。一方、肉類は0.1%の上昇、乳卵類は0.2%の上昇、飲料は0.2%の上昇、外食は0.4%の上昇となった。



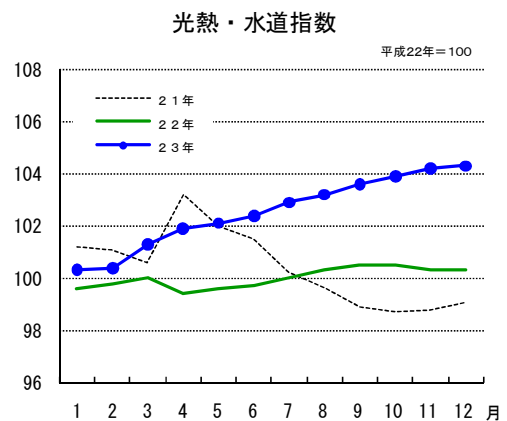
(2) 住居

年平均指数は 99.9 となり、前年に比べ 0.1% の下落となった。内訳をみると、家賃は 0.1% の下落、設備修繕・維持は 0.5% の下落となった。



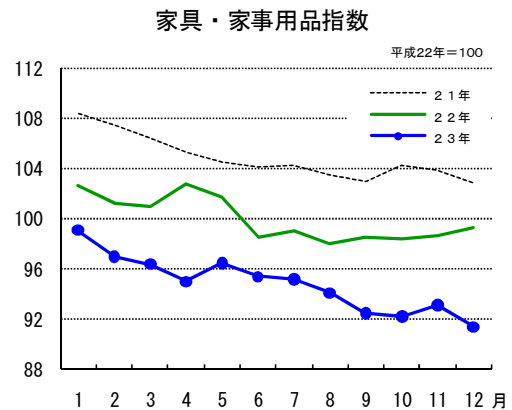
(3) 光熱・水道

年平均指数は 102.5 となり、前年に比べ 2.5% の上昇となった。内訳をみると、電気代は 2.0% の上昇、ガス代は 3.9% の上昇、他の光熱は 19.6% の上昇となった。なお、上下水道料は前年と同水準となった。



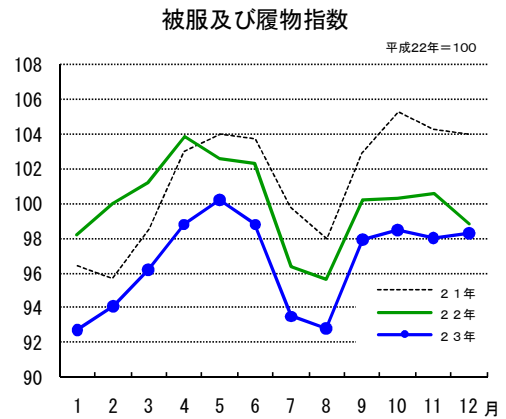
(4) 家具・家事用品

年平均指数は 94.8 となり、前年に比べ 5.2% の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は 9.8% の下落、室内装備品は 7.4% の下落、寝具類は 0.4% の下落、家事雑貨は 3.4% の下落、家事サービスは 0.5% の下落となった。一方、家事用消耗品は 0.3% の上昇となった。



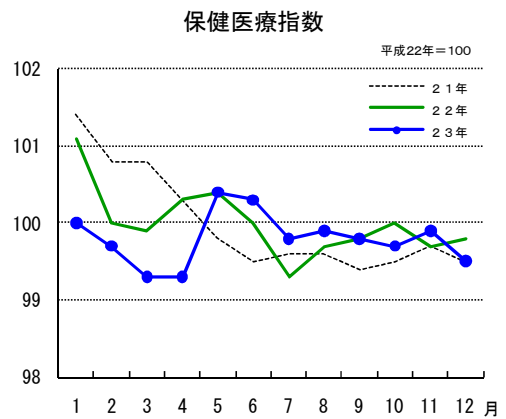
(5) 被服及び履物

年平均指数は96.7となり、前年に比べ3.4%の下落となった。内訳をみると、衣料は4.5%の下落、シャツ・セーター・下着類は1.1%の下落、履物類は8.7%の下落となった。一方、他の被服類は0.3%の上昇となった。なお、被服関連サービスは前年と同水準となった。



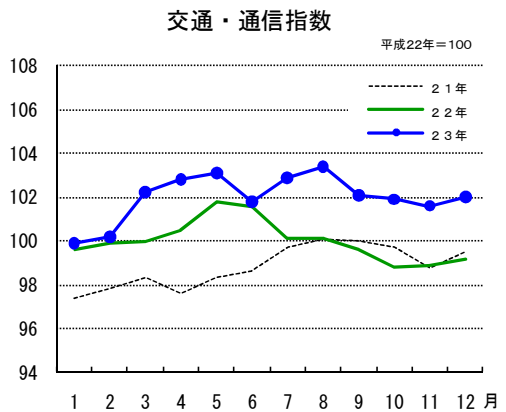
(6) 保健医療

年平均指数は99.8となり、前年に比べ0.2%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は0.8%の下落となった。一方、保健医療用品・器具は0.3%の上昇、保健医療サービスは0.1%の上昇となった。



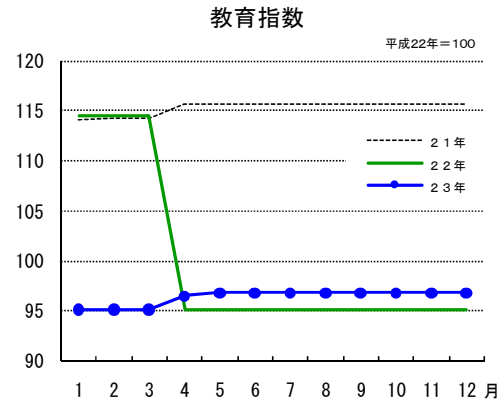
(7) 交通・通信

年平均指数は102.0となり、前年に比べ2.0%の上昇となった。内訳をみると、交通は1.4%の上昇、自動車等関係費は3.4%の上昇となった。一方、通信は0.6%の下落となった。



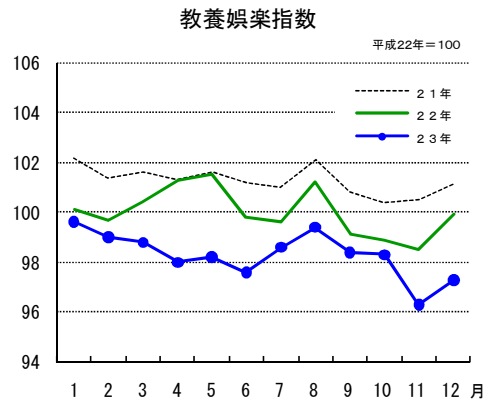
(8) 教育

年平均指数は96.4となり、前年に比べ3.7%の下落となった。内訳をみると、授業料等は8.0%の下落となった。一方、教科書・学習参考教材は0.1%の上昇、補習教育は2.9%の上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は98.3となり、前年に比べ1.7%の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は17.5%の下落、教養娯楽用品は0.2%の下落となった。一方、書籍・他の印刷物は0.3%の上昇、教養娯楽サービスは0.9%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は102.8となり、前年に比べ2.8%の上昇となった。内訳をみると、たばこは26.2%の上昇、他の諸雑費は5.7%の上昇となった。一方、理容サービスは5.8%の下落、理美容用品は1.8%の下落、身の回り用品は1.7%の下落となった。

